乳房の手術を受けられる患者様へ

乳房温存術パス（前日入院）【36104-01】

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様　　入院病棟：＿＿＿＿＿＿病棟　　主治医：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　受け持ち看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿　　No.1

日付	／	／	／
入院日数	1日目	2日目	
イベント	入院日、手術前日	手術当日：手術前	手術当日：手術後
目標 毎日看護師と評価します	□手術を受ける身体の準備が整っている □処置について理解できる	□体温・血圧・脈拍など身体状況が正常値で経過する □安静（手術後の身体の安静、手術した側の腕の安静）の必要性が理解できる □異常な出血がない	
活動範囲	□特に制限はありません	□手術までなるべくお部屋でお過ごしください □病棟外へ行かれる時は声をかけてください	□ベッド上安静です □術後6時間後は看護師の見守りのもと座ることができます □体の向きを定期的に変えていきます（床ずれ・肺炎防止）
食事 飲水	□（　　）時以降は食べることができません （水・お茶・スポーツドリンクは可） □内服は（　　）までです 	□食べることはできません □（　　）時まで、水・お茶・スポーツドリンクは飲めます □飲んだり食べたり出来ない時間に口が渇いた場合はうがいをしてください 	
清潔	□必ずシャワー浴してください 		□タオルで体を拭くことができます
排泄			□尿の管が入ってきます
ケア		□7時　便を出す座薬をします □手術前に点滴を始めます（　　手）(2番目以降の方) □時計・入れ歯・指輪・眼鏡・コンタクトは外します 顔色がわからなくなるためお化粧はできません □（　　）時頃、歩いて手術室に行きます ※場合によってはベッドで行きます 	□酸素吸入をします □心電図モニターが装着されています □傷の側から管が入っています □定期的に体温・血圧・脈を測定します □点滴をしています 
検査	□手術する側の腕の太さを測定します □手術する側の脇の毛を確認します □手・足の爪にマニキュアをしていないか確認します		
説明 指導	□（　　／　　）（　　時） 医師から手術について説明があります □看護師から手術前後の処置について説明します □麻酔科の医師、手術室の看護師の訪問があり、手術についての説明をします 時間がわからないのでなるべくお部屋でお過ごしください	  	□手術後ご家族へ医師から説明をします □深呼吸をし、痰を出しましょう □痛みや不快な症状は我慢せずお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

市立札幌病院　外科・6階西病棟　2011年7月作成、2024年8月改訂

乳房の手術を受けられる患者様へ

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様　　入院病棟：＿＿＿＿＿＿病棟　　主治医：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　受け持ち看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿　　No.2

日付	／	／	／	／　～　／	／
入院日数	3日目	4日目	5日目	6～8日目	9日目
イベント	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～6日目	退院日
目標 毎日看護師と評価します	□全身状態と創部に問題がない □手術した側の腕の安静の必要性が理解できる □歩行ができる	□全身状態と創部に問題がない □手術した側の腕の安静が理解できる	□感染（創の化膿・発熱）がない □痛みをコントロールできる □退院後の生活の注意点が言える		□痛みをコントロールできる □退院後の生活の注意点が言える
活動範囲	□最初の歩行は看護師と一緒に行います □術後3日目までは手術した方の腕を横に広げないようにしましょう		□リハビリ開始（　／　～） □退院まで平日は毎日リハビリがあります □土日はご自身でリハビリをお願いします（リハビリの先生から土日のメニュー用紙をもらいます）		
食事飲水	□6時から水分をとることができます □朝食から食事・内服再開となります				
清潔	□タオルで体を拭きます □ご希望があれば洗髪の介助をします	□シャワー浴ができるのは管が抜けてからになります 管があっても、下半身のみシャワー浴をすることができますので、看護師に方法を確認してください		□管が抜けた後は全身シャワー浴が可能です	
排泄	□尿の管を抜きます				
ケア	□心電図モニターを外します □痛みが続く場合は内服鎮痛剤を処方します □点滴の針を抜きます			□4日目以降、排液の量が50cc以下になったら管を抜きます	
検査	□採血・レントゲン検査があります				
説明指導	□痛みや不快な症状は我慢せずお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします			□退院が近くなりましたら、退院後の生活の注意点と、該当する方にリンパ浮腫予防指導があります □退院後に外来で医師より病理結果の説明があります	

退院基準：手術後合併症がなく日常生活に戻ることができる









注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

市立札幌病院　外科・6階西病棟　2011年7月作成、2024年8月改訂